

Check!



●外側に付くバックルはオフ用の証。レース用のように4個も付くと苦痛だが、同品は足首部に2カ所なので脱着は容易（上部はベルクロ）。ベルト長は3mm単位で調節可能だ

GAERNE G-MIDLAND

DATA

価格:3万7800円
カラー:ブラック
サイズ:25.0~28.5cm
素材:フルグレインレザー+ガエルネ3Dドライテック
●ジャベックス ☎03-3773-7633
<http://www.japex.net>



Tester
五十嵐重明

●メインはロードバイクだが、オフ車も常に1台所有。近々、250cc車を新たに入手する予定……



「オフ寄りブーツ」のベストバイ

林道ツーリングが流行っていた20年ほど前、林道を走るオフ車ライダーの多くはエンデューロ（あるいはMX）ブーツを履いていたものだ。しかしその姿に憧れはしたが、脱着性や資金面から私はもっぱら登山靴を愛用。しばらくして、シンプルで柔軟なトライアルブーツの使い勝手が気に入って長く使用してきたが、フラットダートを走る程度なら過剰なものも事実だ。当時感じていたのは、「オフ寄りツーリングブーツ」の不在だった。

この手のブーツに求めるものは、スネまでの長さがあるが、しかし脱着はしやすく、プロテクション性能はまあまあでOK、そして防水性があり歩きやすいこと。加えてオフっぽさを備えつつも洗めのデザイン。今春発売されたガエルネ・

Gミッドランドは、20年前に描いたこの理想にとっても近い製品である。

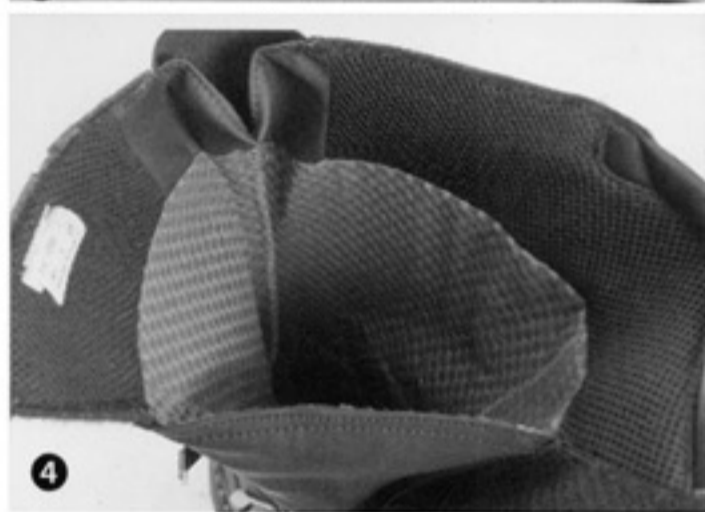
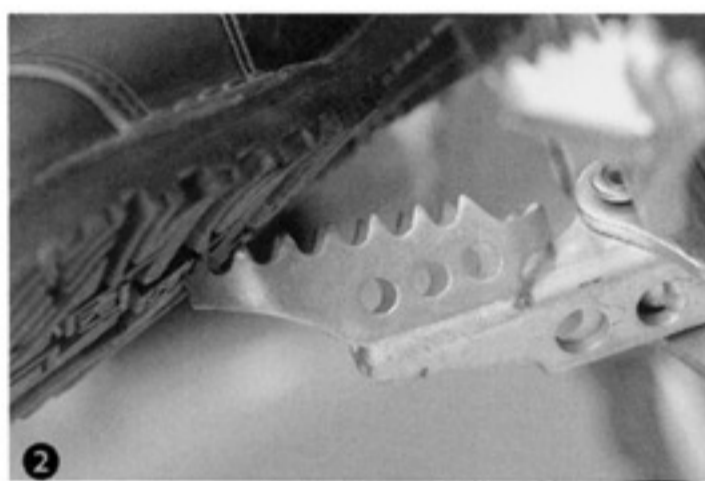
まず顔がほころんだのは脱着のイメージ。キャンプ旅では特に、これが面倒ではテントからの出入りも苦痛。しかし同品は、口がガバツと開いて足がスルスと外れる。バックルも下方2カ所（レス用は3〜4個付く）だけなので履くのも容易だ。抜群の軽さも特筆モノで、実測1088g（26cm）は登山靴同等、ロング丈としては抜群である。

この段階で、もう私にとっては買いたが、当然気になったこともある。造りがそこそこ頑丈なため、足裏からのインフォメーションが少々希薄で、リヤブレーキの操作感が若干つかみにくい。あくまでもオフ用というわけだ。また、ねんざ

などの対策で左右へのねじれに対し強い構造になっているため、歩行時はそれが硬さとなって気になる。今回はSSも含め、いろいろなバイクで試用してみたが、当然ながら、前傾姿勢のポジションでは操作性の評価は低くなる。

だから万能ツーリングブーツではない。しかし気に入ったのは、やはり「オフ風味」が絶妙だからである。

アドベンチャーモデルとは最高に相性のいい一足で末長く満足できる製品といっているが、この手の製品寿命は防水フィルム次第で、経験上はボディよりもはるかに早くフィルムがダメになる。現状は完璧な防水性能を持つ同品だが、それがどれほどの耐久性を持つか——これが今一番の関心事である。



①ガレ場や濡れた場所でのグリップ力は十分
②金属ステップだとその溝が引っ掛かり、足を動かすのが楽。ラバーステップとの相性はバッチリのため、本格トレール車よりもアドベンチャーで使うのが合う
③内側には耐熱スエードを使用し、バイクへのダメージを抑える
④内側には、蒸れにくく肌触りもよい立体ハニカム素材を使用。後ろ側（写真上側）にはストレッチ素材を用い、締めつけることなく十分なフィット感を実現する

